

… 令和3年度予算要望書を服部区長に提出！ …

令和3年度予算要望書を服部区長に提出！



台東区議会公明党が目指す3つの柱

- 1 基本構想「世界に輝くひと まち たいとう」の実現のため
ひと→今後の台東区を担う「ワカモノ」
まち→今後の台東区の住宅対策に焦点をあて、
施策の展開を図ること。
- 2 「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現を目指し、「持続可能な開発目標 (SDGs)」への取組みを着実に進めること。
- 3 新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を実現できるデュアルモード社会を目指しこれに資する施策を推進すること。

9月30日、台東区議会公明党議員団は、服部征夫台東区長に対して「令和3年度台東区の施策と予算編成に関する要望書」を提出しました。

要望書は、各議員が地域の皆様から頂いたご意見・ご要望や、各種団体からのヒアリングをもとに取りまとめたものです。

福祉の充実と区政のあらゆる分野における「安全・安心」を最優先し、限られた財政資源の中で、事務事業の効率化、透明化を図りながら、次世代を担う世代の育成、子育て支援を強化する視点で、各分野における必要な施策として、10分野700項目を超える要望事項を盛り込みました。

特集として、ポストコロナ時代の台東区―「新たな日常」の実現のため、を掲載。並びに令和2年度において国、東京都、そして台東区に対し8度にわたり要望しました、「新型コロナウイルス感染対策、ウィズコロナ関連の取組みにかかる緊急提言」を掲載しました。

服部区長から「現場第一主義の公明党の皆さんの要望に対し、しっかり検討してまいります」とのコメントを頂き、区議団として今後、要望内容の実現のため全力で取り組んでまいります。

ポストコロナ時代の台東区― 「新たな日常」主な要望項目として

- 新たな働き方への支援について。
- 新たな来店型店舗への取り組み、中小企業の事業継続支援について。
- 双方型遠隔授業の完全実施について。
- 持続可能な地域づくりについて。
- デジタル区役所一次世代型行政サービスの推進について。
- 区役所のガバナンス強化、事務改善の推進について。

10分野における主な要望項目として

- 地域産業、商店街の元気創造のために。
- 本物に出会えるまち、おもてなしの心満載の文化観光都市とするために。
- 災害に強い先進都市台東区とするために。
- 暮らしやすい、便利なまち台東区とするために。
- 一人として置き去りにしない福祉・健康先進都市台東区の実現するために。
- 誰もが輝き、活躍できる社会の実現のために。
- 子育て支援、創造性、人間性豊かな教育、生涯学習社会の実現のために。
- SDGsを推進するために。
- 区民本位の区役所へガバナンス強化のために。
- 恒久平和都市をめざして。



小坂よしひさ 粹いき台東へ 身近な区民のサポーター！



令和3年度新春号

台東粹いき新聞

29号



コロナ禍、克服の一年に

皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、今まで私たちが何気なく展開していた生活を見直さざるを得ない前代未聞の一年でした。

今もまだ、新型コロナウイルス感染危機に直面する中、我が国、首都東京、そして私たちが暮らし、働く台東区も未来を先取りする社会変革に取り組む必要があると考え、令和3年度の予算要望書ではポストコロナとして様々な角度から要望させていただきました。

感染拡大、ウィズコロナの只中、区民の生命・健康を守り、事業者の事業・経営の継続を支えるため、台東区は総力を挙げて奮闘しています。だからこそ、次の時代を見据えポストコロナ時代の台東区の青写真を示していくことが大切と考えます。

本年が皆様にとりまして希望輝く一年であることを願いたします。

小坂よしひさ・令和2年活動報告 ① (2年度の主な議員活動を掲載)

令和2年 第1回定例会 一般質問に登壇

公明党を代表して2月17日に質問を行いましたので要旨を掲載します。



2月17日の一般質問に登壇

Q 防災対策について

- 1 「防災・減災」を区政の主流にすること。災害を「わがこと」として当事者意識を持つことについて2点伺う。
ア 災害が起こることを前提とした防災教育・防災活動に取り組むことについて伺う。
イ フェーズフリーの認識について伺う。
- 2 ペットの同行避難に関する課題と受入態勢の整備について伺う。

- A 区長
- 1 ア 災害が起こることについて自助の力を高めることは大変重要である。区民一人ひとりの災害に対する意識や行動力の向上に取り組む。災害時の活用も意識することで、フェーズフリーの視点を取り入れ事業を推進する。

- A 区長
- 2 避難所運営マニュアルに同行避難について受け入れを推奨する取組みもある一方、飼育スペースやアレルギー対策など課題もあるため引き続き協議する。

Q 町会の活動活性化推進について

今後の町会活動の推進について伺う。

- A 区長
- 今年度、「町会活動等に関する意識調査」を実施。来年度事業としてアドバイザー派遣と合わせマンション居住者と連携した防災訓練等の実施を予定。役員の負担軽減などの方策について検討し、活性化に向けた支援充実を図る。

Q 胃がん検診に伴うピロリ菌検査について

がん検診の際に、ピロリ菌検査の導入について伺う。

- A 区長
- 昨年10月より胃内視鏡検査を導入し、がん検診の充実を図った。ピロリ菌検査について国の動向を注視する。

Q 「都市型軽費老人ホーム」について

「都市型軽費老人ホーム」の整備推進について伺う。

- A 区長
- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための選択肢の一つである。来年度「高齢者保健福祉計画」を策定する中で、検討する。



Q 台東区幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」について

「ちいさな芽」策定後、どのように展開したのか。また、開発委員会による取組内容及び実践による子供たちの変容について伺う。

A
教育長

区立幼稚園・保育園・こども園及び小学校で「ちいさな芽」に基づく指導案を作成し教育・保育の充実に生かしてきた。開発委員会としてカリキュラムの充実と発展に向けて取り組んでおり、子供たち自身の関わりにおいて互いの良さを認め合う姿が見られるなどの報告を受けている。

小坂よしひさ・令和2年活動報告 ②

令和2年 第1回定例会 予算特別委員会にて 総括質問を行う

第1回定例会の予算特別委員会(3月2日～23日)において3月16日に質問を行いましたので要旨を掲載します。



3月16日の予算特別委員会に登壇

Q 今後の認知症施策について

- ① 国の「認知症施策推進大綱」を踏まえた展開について伺う。
- ② 認知症サポーターの養成人数及び活動状況について伺う。
- ③ 東京都との連携について伺う。

A
区長

- ① 大綱は、認知症の方と地域住民との「共生」及び認知症「予防」が基本的な考え方としてある。趣旨を踏まえ引き続き取組みを進める。
- ② 約1万5千人のサポーターを養成。地域や職場など正しい理解を広める活動や認知症カフェの運営に協力をいただいている。
- ③ 都では、情報提供や人材育成など区への支援を行っている。一層の連携を今後も図る。

Q 高齢者福祉施設の運営について

今後の社会福祉事業団による高齢者福祉施設の運営について伺う。

最近の主な地域実績

◆上野駅入谷口における公衆喫煙スポットを廃止しました。(学校の通学路でもあるため撤去要請していました)



A
区長

事業団は区民福祉のセーフティーネットとしての役割を有しており、安定した運営となるよう必要な指導・助言を行う。

Q レジ袋有料化に伴う プラ生活の見直しについて

プラスチック使用削減、見直しに向けた区民への周知・啓発活動について伺う。

A
区長

これまでの取組みに加え、出前講座やイベント等において、周知啓発を行う。

Q 備蓄食料の有効活用について

賞味期限が近づいている備蓄食料を子ども食堂等へ紹介する団体と協働することによる環境負荷軽減や福祉的支援活動の見解について伺う。

A
区長

一部の備蓄品について児童館やこどもクラブにおいて軽食として提供。今後も更なる食品ロスの削減に努める。

Q 新学習指導要領について

- ① 円滑な実施に対する指導体制の充実について伺う。
- ② 教育内容の改善の進め方について伺う。
- ③ 今後の防災教育の展開について伺う。

A
教育長

- ① 教育活動の更なる充実を図ることが重要。教員の授業準備時間の確保について適正な業務管理を推進することで時間の確保に努める
- ② 学習指導要領の各教科等に示される事項を適切に実施する。
- ③ 防災を含む安全に関する教育を、各教科等の特質に応じて適切に行うよう努めることが示されている。児童・生徒が主体的に自身の安全について考え、自助・共助・公助の精神の下、行動できるよう防災教育の展開を図る。



◆横断歩道の陥没補修と安全確保として、JR上野駅や区役所が近くにある都道の整備を行いました。



小坂よしひさ・令和2年活動報告 ③



**新型コロナウイルス対策！
力を合わせ新しい日常へ**

私たち公明党区議団は、皆様の声を・思いを形にするべく3月31日、国と東京都に対してPCR検査キットの数量不足の改善、検査体制早期の構築など「新型コロナウイルス感染拡大に関する要望」を提出し、4月4日当時の加藤厚生労働大臣、小池都知事宛に「院内感染が疑われる永寿総合病院における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う状態から、入院患者、病院関係者、地域住民の命と医療体制を守るための要望」を提出しました。

一方で、1月29日、4月6日、4月20日、5月1日、5月11日、6月29日、7月10日、8月10日の計8度およそ100項目にわたり、服部台東区長に対して、マンパワー支援や避難所対策、学校休校への対応や特別定額給付金、融資対策など区民の安全・安心な生活の実現を推進し、さらに区内事業者をお支えする施策の展開など求めてまいりました。

主な項目として

- 1. 台東区地域防災計画に「避難所における感染症対策」を求める。
- 2. 来年3月末日までの新生児に対し、給付金の支給を求める。
- 3. 医師会と連携し、発熱外来やPCR検査センターの整備充実を求める。
- 4. 区内小中学校等に、サーモグラフィーやアクリル板など感染症対策用品の配備を求める。

- 1. 永寿総合病院におけるクラスター班の派遣と人的支援(国、都議会議員との連携)。
- 2. 永寿総合病院におけるPCR検査の拡大と転院先医療機関の確保。
- 3. 台東保健所体制強化における人的支援。
- 4. 新型コロナウイルス感染症による申請証明書における発行手数料の無料化。
- 5. 住居確保給付金における相談体制の強化。
- 6. 介護施設、障害者施設における給付金支援の確立。
- 7. コロナ禍の影響の中、災害発生時における避難行動の検討化。
- 8. オンライン学習の早期化。
- 9. 雇用調整助成金における専門家派遣。
- 10. 区内クリニックにおける感染防具の配備など。
- 11. 「#おうちでたいとうグルメ」プロジェクトの推進。
- 12. 本庁舎出入口にサーモグラフィーカメラを設置。
- 13. 台東区内の全小学校にサーモグラフィーカメラを設置。
- 14. 妊婦に対する応援特別給付金の創設。



**おいしい! たのしい!
「#おうちでたいとうグルメ」プロジェクト**

台東区議会に提案された「#おうちでたいとうグルメ」プロジェクトは、台東区民の食生活の豊かさを促すとともに、区内の飲食店や食品店を支援する取り組みです。また、区内の飲食店や食品店を支援する取り組みです。また、区内の飲食店や食品店を支援する取り組みです。



浅草小学校を視察しました